

大東町阿用地区 [新温泉施設へのプール併設について]

Q197

ゆとりの里が閉鎖され、新施設検討がされているが、プール施設の建設を要望する。他町にはプールがあったが大東にはなかった。今、身体医学研究所の調査では、雲南市で腰・膝などの故障

が多いことが解っている。このためプールで筋力をつけて高齢になっても元気なお年寄りになりたい、是非プールを作って欲しい。

A

身体医学研究について、一期生、二期生の皆様には、行政が出来ないところも非常によくやっていただいております。

島根県は、腰痛・膝痛が、全国的にも多い状況です。そういうことを無くすのに、水中運動は非常に有効的です。プールを市民の皆さんが、使いやすいようにどうしたらいいか検討中です。

（健康福祉部）

大東町海潮地区 [海潮温泉施設整備計画について]

Q198

ゆとりの里閉鎖後の海潮温泉施設整備計画について、検討会が立ちあげられて検討されているが、住民や利用客の要望を踏まえた施設をお願いしたい。ゆとりの里閉鎖によって風土記以来の名湯海潮温泉の利用客は分散、減少しているが、雲南市はこの温泉をどう位置付けていて、どう対策していくのか考えが聞きたい。地区としては、1日200～300人の受け入れが可能で健康づくり施設、入浴できなくても手湯、足湯を備え、また食堂、会食できる部屋、産直品の売り場の併設も希望する。また温泉街の駐車場の確保と草刈りなどの環境保全整備も進め、私たち海潮地区民が胸を張ってPRできる温泉としてもらいたい。

A

6月22日に発足した「海潮温泉温浴施設整備検討委員会」は雲南市全体から17名で構成され、大東町は12名、そのうち海潮地区から5名にお出かけいただいております。6月29日には2回目を開催し、海潮温泉の女将さんを含め、現地踏査を行いました。

慎重の中にもテンポよく検討を進めています。十分な検証を踏まえたうえで、雲南市の観光ブランドである温泉の強みと弱みなど十分に委員から意見を聞き、今後の施設についても様々な意見を聞いたうえで方向性を決める検討に入りたいと考えています。

桂荘、かじか荘は運営を続けていますが、メインの施設となるゆとりの里が閉鎖している期間はできるだけ短く、長くても2年だと考え、検討を進めています。海潮地区からの皆さんの熱い想いや要望について、検討委員さんに十分集約していただければ検討会の中で反映させていきたい。ご指摘の駐車場問題、環境整備の問題等については、十分に認識しているつもりであり、検討委員会の中でもこれを踏まえて慎重に新しい施設についての議論を進めていきます。（産業振興部）

Q199 [検討結果の公表について]

ゆとりの里について地権者の一人だが、検討委員会の議論の中身を知りたいのでその状況をホームページなどを活用して、地権者はもとより市民が迅速に知ることができる体制を作ってもらいたい。

A

情報開示の方策について検討し、ホームページなどを活用して迅速に可能な限り伝えていく考えです。（産業振興部）

Q200 [水中運動機能について]

ゆとりの里について、身体科学教育研修所で地域運動指導員の研修を受けた。大東町から2期目は6名参加した。水中運動をおこなう施設は三刀屋と吉田にあり、プールに入る運動は非常に効果的であるが、大東からは遠方である。新しい施設ができるならぜひこういった機能を持たせてほしいと指導員研修の仲間と話している。

A

本日伺った意見は私も検討委員会の中で必ず話していきますが、今回検討する施設は雲南市とな

平成 2 1 年度市政懇談会（まとめ）

って初めて雲南市が企画、整備する施設であり、これまでも話しているとおり市だけで決定することはありません。

広く市民の意見を参考とするため、こうした提案を地元選出の検討委員さんと十分に意見交換していただき、検討委員会の中で議論していきます。この経過については先ほどのご意見にもあった通り迅速に皆様にお伝えしていきます。（産業振興部）

Q201 [関連質疑]

ゆとりの里について合併前には温泉源を使ったりリハビリセンターの話があった。病院とリハビリセンターを融合させた特徴ある施設となるのではないか。一般の人がつかう場合は、市の労災があるが規約改定をして労災を使えるようにしてほしい。

A

リハビリセンター等のご提案について検討委員会の中で十分に協議させていただきます。検討委員会の中では観光か、市民の健康増進施設かは最初の段階で慎重に協議を進めたいと考えています。（産業振興部）

大東町大東地区 [海潮温泉施設整備計画について]

Q202 [ゆとりの里閉館について]

人口の減少、高齢化が進んでいるが、活気のある町になってほしい。ゆとりの里が閉館し名所が一つなくなり奥出雲町の玉峯山荘（の客）が多くなった。活性化になるような拠点があってもよいが。

A

ゆとりの里の施設の閉鎖は、老朽化に伴うもので、今後検討委員会で検討していきます。（市長）

Q203 [海潮の温浴施設について]

海潮の温浴施設については、3つの施設を1つにして新しく建設する予定だが、予算、規模機能についてどうか。

A

3月末でゆとりの里が閉鎖しました。町内には、かじか荘、桂荘、ゆとりの里の3施設ありますが、（ゆとりの里は）平成2年に建てられた一番新しい施設にも関わらず、老朽化が進み、いつ事故が起きるか分からない状況で、閉鎖せざる得なくなりました。

早く新しい何らかの施設を作って利用していただくため、出来るだけ閉鎖時間を短くすることが求められています。検討委員会を設けて金額等について検討していきますので現在のところは申し上げられません。（市長）

Q204 [関連質疑：海潮の温浴施設について]

潮温泉は、温度・湯量が優秀で毎分600ある。かじか荘は、前から安い料金（100円）で、最低限ゆったり入って、安く入れることが望ましい。

また、施設には常駐の管理者を置いたり、地元の材料・大工さんの利用を考えてほしい。

A

検討します。（市長）

木次町新市地区 [明石公園について]

Q205

明石公園の薔薇園について開園後あまり進展を聞かないが、市の財政支援がどれほどなされているのか伺う。また明石公園の活用の観点から、中国地方の大学の運動部に働きかけて合宿等に利用してもらえればと思うが、そのような考えはあったのか伺う。

A

奥出雲薔薇園は市として積極的に誘致してきた経過があり、明石公園の用地提供を含め支援を行い、経費としては計画策定等を行い、また市が1,371万4千円ほど負担して造成しています。

観光薔薇園を目指して平成19年度から3年間で3ヘクタールの植栽を計画しておりますが、高級な薔薇の加工販売であり、昨今の経済情勢等では販売が伸びない状況もあり、企業として植栽が行えない現状ですが、市としては計画通り植栽していただき観光薔薇園として目的達成していただくよう協議をしています。

明石公園の運動場については、三刀屋総合センターで直接管理していますが、明石公園の利用率はなかなか伸びない状況です。これまでも大学に働きかけて合宿場として提供する取り組みをしてきており、大阪からサッカー合宿に来ていただく等効果が出ている面もあります。今回提案いただいたことは三刀屋総合センターに持ち帰って参考にしたいと思います。（産業振興部）

三刀屋町三刀屋地区 [明石緑が丘公園の利用促進について]

Q206

以前慣れ親しんだケイマンゴルフ場を廃止されて約5年になるが、一部をバラ園とし、あとは放置状態となっている。現在のパークゴルフも湿地帯のような悪条件で実施されている。使用されていない場所をグラウンドゴルフ場にするなど、もっと利用価値を高めるようなことはできないのか。

A

有限会社フレグランス・ロゼ（奥出雲薔薇園）は、平成17年7月に産業薔薇園として明石公園の隣接地1haで開園され、その後、平成19年5月に規模拡大としての覚書を締結し、19年度から順次薔薇「さ姫」を植栽（3ha）していく計画で事業を進めているところです。

利用者の減少等により、平成18年11月末にケイマンゴルフ場を閉鎖し、翌年の19年9月に現在のパークゴルフ場を整備し、市内はもとより老若男女を問わず、多くの方に利用されております。17年度の利用者数（ケイマンゴルフ）は2,264人/年に対し、20年度の利用者数（パークゴルフ）は3,939人/年とケイマンゴルフより利用者も増えております。

残地は薔薇園として、有限会社フレグランス・ロゼに貸し出し、植栽計画にあわせ、逐次芝の剥ぎ取りや土壌改良及び管理が行なわれるものと考えます。使われていない場所をグラウンドゴルフなどで使えるようにすることなどの利用については、昨年もグラウンドゴルフ大会開催の相談もあり、有限会社フレグランス・ロゼと協議し、大会を計画された経過もあります。使われていない場所を常時利用するというのではなく、年何回かのイベント開催につかまして都度相談していければと思います。

薔薇の植栽状況は、随時植栽が行なわれる予定ですが、昨今の経済状況の中で新たな商品開発や販路拡大というのなかなか思うように進んでいないという状況も一方あり、植栽は計画どおり進んでいないのが実態です。

過剰な生産拡大は企業の経営上危険なものと考えられますので、着実に一步一步進めていただいているということです。今後も引き続き、販路を確保してから植栽にあたられるものと伺っております。（産業振興部）

吉田町吉田地区 [観光施設等の情報について]

Q207

「島根景観大賞：菅谷たたらと桂の木」の件で本庁へ電話をしたら職員が知らなかった。市報や施政方針には目を通すなど基本的な情報入手ではないか。

平成21年度市政懇談会（まとめ）

A

今後このようなことが無いようにします。（総務部）

掛合町松笠地区 [観光に対する雲南省のPRについて]

Q208

近隣自治体の観光パンフレットは優秀あるいは特徴あるものができている。掛合町には滝100選、龍頭が滝は名馬池月の伝説のあるところ。そういう宣伝をきちんとやっていただきたい。

A

特徴のあるパンフレットというものは、人それぞれによって異なると思いますが、他町は立派なものを作っておられます。雲南省も6つ（の町村）が一緒になってから新たなパンフレットを作成しています。

雲南省が作成をしたものや、映画「うん、何？」においては、観光と言われるものをすべて取り込んだことになっており、ロケ地マップも作っています。

また、観光というものは、市だけで完結をするものではなく、県全体で交流を図っていくべきものなので、県観光連盟作成のパンフレットもあります

鉄の道の関係など逐次作っています。特徴あるものかどうかということは何とも言えませんが、パンフレットをつくることよりも、私たちはあらゆる機会に雲南をPRして行くことが重要と考えています。

様々な機会で情報発信という意味でパンフレットを配るように心がけており、できるだけ短期で新たに更新をしていく仕掛けとしています。

映画「うん、何？」のロケ地を回りたいという観光客がおられるので、7月から観光推進員を配置し、観光の入り込み客増加の仕掛け作りをしていこうと考えています。（産業振興部）

掛合町波多地区 [ふれあいの里の閉園について]

Q209

ふれあいの里の閉園について先般説明会があった。使い方によっては地域が活性化する可能性があると思うが、地域住民だけではなかなかいい案が出にくい。

市内・市外から提案と同時に経営してもらえる意思のある人を募集してみたらと考えるがどうか。

A

あくまでも県営施設であり、指定管理に出されている施設です。平成17年度～平成21年度までの5年間の契約が来年3月で切れます。ここ数年6、7千人であり役割が終わったと判断されました。6月24日島根県から説明があったとおり、休園はするが管理はしていきます。全国公募もウェルカム（歓迎）です。

彩りプロジェクトの中でも検討いただきたい。市としても県と地元の皆さんとのきちんとした橋渡しをしていきたいと考えています。（産業振興部）